

様式2（第3の6関係）

会 議 の 概 要

1 会議名（審議会名）	宝塚市社会福祉審議会（令和5年度第1回）
2 開催日時	令和5年（2023年）6月5日（月）14時30分～16時
3 開催場所	宝塚市役所 4階 特別会議室
4 出席委員（敬称略）	藤井博志、松岡克尚、井上聖、福住美壽、長岡恵美、福本芳博、明石ともえ、菅沼玲子、今北さゆり、川口圭子、梅田幸子、志方龍、吉野真旨、朴信江、米岡秋徳、西口信幸
5 公開不可・一部不可の場合の理由	
6 傍聴者数	0人
7 公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可
8 議題及び結果の概要	<p>1 「諮問について」</p> <p>（1）審議内容の概要 諮問の対象となる計画趣旨について説明を行う。</p> <p>（2）主な意見 意見なし</p> <p>2 「今後の進め方について」</p> <p>（1）審議内容の概要 計画策定にあたってのスケジュールなどについて報告を行う。</p> <p>（2）主な意見</p> <p><委員> 前期計画（第6期計画）総括及び評価や計画素案について、審議会の中での意見交換・議論が含まれていない。 また、本計画を審議するにあたっての、臨時委員を除く全体会議の開催予定はあるか。</p> <p><事務局> 現在、前期計画が現行の計画として運用されている最中なので3年間というくりでの総括は難しい。 前年の計画に対する振り返りは、全体会にて引き続き行う意見交換の場、9月の全体会にてご意見をいただく予定。 なるべく早く小委員会での意見を全体会にはかれるよう事務を進めていきます。</p>

また、委員のみの会合は現段階では計画していないが、必要に応じて開催予定。

1 「宝塚市障害福祉計画（第7期計画）・宝塚市障害児福祉計画（第3期計画）」

(1) 審議結果の概要

概要について、資料を用いながら説明を行う。

(2) 審議における主な意見

<委員>

障害者権利条約は、守らなければならない、守られているかどうかのチェックを国連から受ける必要がある。

本来、2年以内に審査を受ける事になっているが、審査を受ける国が多いので、審査の順番が回ってくるのが遅いというのが現状であった。

日本への勧告は厳しいことが沢山かかっているが、日本が世界的にどのようにみられているかがに如実に表れているものとして受け止めて欲しい。

私見ではあるが、一義的な責任は政府にあるが、政府が何かをするまで待っていただいたいというものではない。自治体としての取組が広がり、それが国に反映していけばよいと考えている。各団体との連携を深めながら進めていきたい。

<委員>

第1回の小委員会までにはこれまでの取組の総括などある程度は示して欲しい。

<委員>

障害のある子どものニーズの整理に関して、教育委員会や子ども未来部の分野とのかかわりはどのように計画していますか。

<事務局>

臨時委員の中に養護学校の職員がおり、そこから意見をいただく予定である。

また、学校教育とは引き続き、意見交換を行いながら情報共有していくとともに、場合によってはオブザーバ的な参加を依頼する事も可能かと考えている。

<委員>

成果目標のうち相談支援の充実について、協議会における個

別事例を通じた検討と記載があるが、個別事例を挙げる事が重要であると考えている。守秘義務の観点から実施は可能か

<事務局>

今後、やり方も含め相談します。

<委員>

行政のサービスはどうしても年齢で切っていくといけないと思うが、年齢関係なくトータルでみる事が出来る仕組みが今後必要であるとする。

<委員>

また、課を超えた横断的な連携が出来る仕組みづくりも合わせて検討いただきたい。アンケートの項目ごとに関係部署に分けるなど、他課との連携を強化いただきたい。

<委員>

国の指針について、関係機関への共有を行っていないのであれば行って欲しい。

<事務局>

アンケートについては期間に限りがあるため、どこまでできるか分からないが、連携が出来るよう対応する。